

## 1. 方法論の改定

J-クレジットを創出したい!というご要望にお応えして、方法論を見直します!

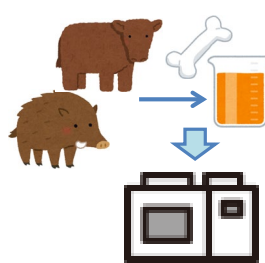
### ➤ エコドライブでデジタコからクレジット創出できます!

タコグラフ装着義務のある車両でも、より低燃費な運転を促し排出量を削減できるデジタコに更新することで、プロジェクト登録できます。(方法論 EN-S-023)



### ➤ バイオ液体燃料の対象が広がります!

これまでのバイオオイル対象である、BDF、バイオエタノール、魚油、魚油精製・利用過程での未利用副生成物由来バイオオイルに加えて、新たに『骨油等(動物の骨から抽出した油脂)』をバイオ液体燃料に含めます。



(方法論 EN-R-004)

## 2. プログラム型プロジェクト\*<sup>1</sup>の改善

第23回運営委員会に引き続き、プログラム型プロジェクトを見直します!

### ➤ 共通属性を簡素化します!

取りまとめる削減活動すべてに共通しなければいけない属性を一部簡素化します。これまで、燃料供給による削減活動と設備供給による削減活動は異なる属性でしたが、1つのプログラム型プロジェクトにまとめることができます。

### ➤ 会員入会時にポジティブリスト\*<sup>2</sup>を反映します!

新規会員入会時には、最新版のポジティブリストを参照します。(方法論は計画書登録時の適用版に基づきます)



\*1:個人や中小企業等の小規模なCO2削減活動を取りまとめるプロジェクト

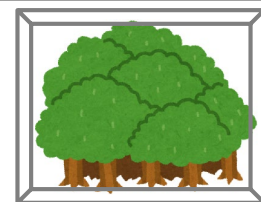
\*2:毎年度見直しを実施する追加性評価が不要な活動をまとめたリスト

## 3. 森林吸収クレジットの活性化

吸収・除去系クレジットの注目度は高いです!

### ➤ モニタリング対象森林の写真撮影に係る規定を緩和します!

クレジット認証申請に必要なモニタリング対象森林の写真撮影について、撮影地点の指定の廃止や、検証ごとの撮影から認証対象期間中に1回とするなど簡素化します。



### ➤ カーボンニュートラル行動計画に森林吸収クレジットが使えます!

経団連カーボンニュートラル行動計画では、これまで排出削減プロジェクト由来J-クレジットのみが活用できましたが、活用可能なクレジットに新たに森林吸収クレジットが加わります。(排出削減クレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画・非参加者が創出したクレジットのみ活用可)

### <参考>



#### 第12回 入札販売のご案内

- 入札期間: 2022年1月12日(水)~1月19日(水)
- 販売予定量: 再エネ発電25万トン、省エネ他10万トン
- <https://japancredit.go.jp/tender/>

#### J-クレジット制度運営委員会

[https://japancredit.go.jp/steering\\_committee/](https://japancredit.go.jp/steering_committee/)

